

すべての人にベター・クオリティ・オブ・ライフ

**2017年3月期 第2四半期決算説明資料**

**ウィン・パートナーズ株式会社 (3183)**

# 2017年3月期 第2四半期 決算概要

---

# 2017年3月期 第2四半期実績

(単位：百万円)

	前期2Q実績	当期2Q実績	前年同期比	期初計画
売上高	25,871	<b>27,713</b>	+7.1%	26,800
営業利益	1,277	<b>1,436</b>	+12.5%	1,340
経常利益	1,283	<b>1,438</b>	+12.0%	1,340
四半期純利益	937	<b>982</b>	+4.8%	910
1株当たり四半期純利益(円)	65.28	<b>68.43</b>	—	—
1株当たり純資産(円)	891.13	<b>997.80</b>	—	—

# 第2四半期の主な取り組み

## ◆ 償還価格改定に伴う価格交渉

---

対メーカー:概ね妥結

対医療機関:約90%妥結

## ◆ 新規顧客開拓

---

第2四半期から数施設と取引開始(CRS)

## ◆ 成長分野の体制強化

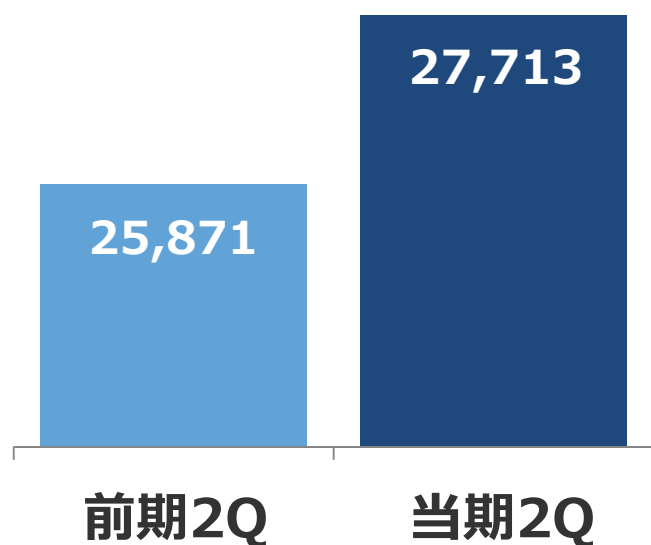
---

CRS増員、アブレーションチームによる施設支援

# 決算のポイント

売上高 <sup>前年同期比</sup> + 7.1% ( <sup>計画比</sup> + 3.4% )

(単位：百万円)



**償還価格下落の影響(▲5%)  
を数量増で吸収**

新規獲得施設の寄与

**分類別ではCRSや大型機器  
が計画を上回る**

# 分類別売上高の状況

	金額 (百万円)	前年同期比 (%)		売上高構成比	
		数量	金額	比率 (%)	増減 (pt)
虚血性心疾患関連 (PCI)	10,491	+6.1	▲5.9	37.9	▲5.2
心臓律動管理関連 (CRS)	6,601	+30.4	+19.0	23.8	+2.4
心臓血管外科関連 (CVS)	3,121	▲6.6	▲3.8	11.3	▲1.3
末梢血管疾患関連 (PPI)	1,398	+14.8	+2.3	5.0	▲0.2
脳外科関連	953	+10.2	+10.4	3.4	+0.1
糖尿病関連 (DMS)	447	-	+24.8	1.6	+0.2
大型医療機器関連	2,330	-	+85.8	8.4	+3.6
その他	2,369	-	+13.3	8.5	+0.5
合計	27,713	-	+7.1	100.0	

# 分類別売上高ハイライト

**PCI** 償還価格下落の影響(▲8.7%)を数量増でカバーできず減収

---

**CRS** 償還価格下落(▲3.4%)を数量増で吸収  
特に冷凍アブレーション等のEP・アブレーション関連は40%増収

---

**CVS** 償還価格下落(▲2%)及びステントグラフトや開心術関連製品の数量減をTAVI関連でカバーできず減収

---

**PPI** 償還価格下落(▲3.7%)をPTAバルーンや末梢ステントの数量増で吸収

---

**大型医療  
機器関連** 消費税増税の影響がほぼ一巡

---

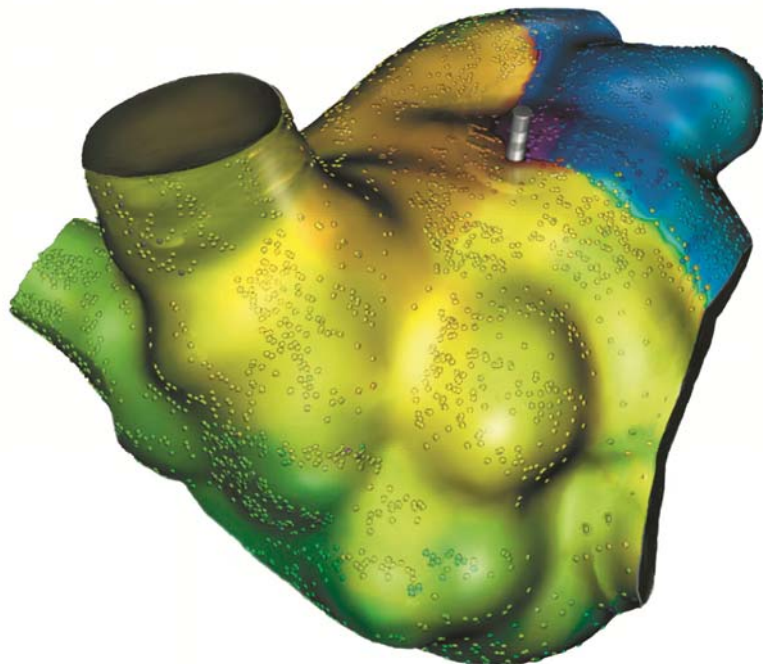
# CRSハイライト

アブレーション治療(心房細動等)が急拡大

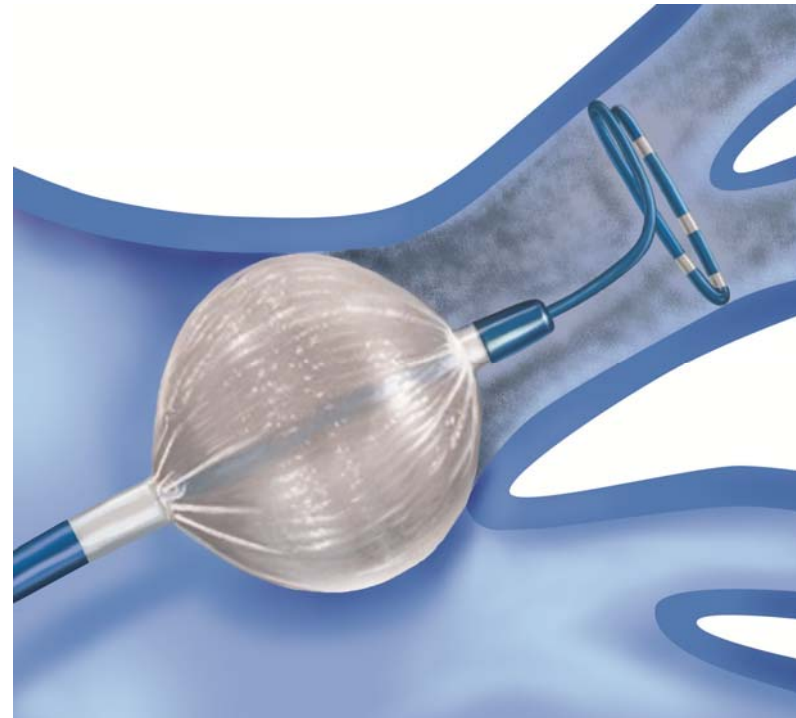
---

新製品の登場で検査・治療精度が向上 → 症例数増加

**診断** 3次元画像システム



**治療** 冷凍バルーンカテーテル





# 決算のポイント

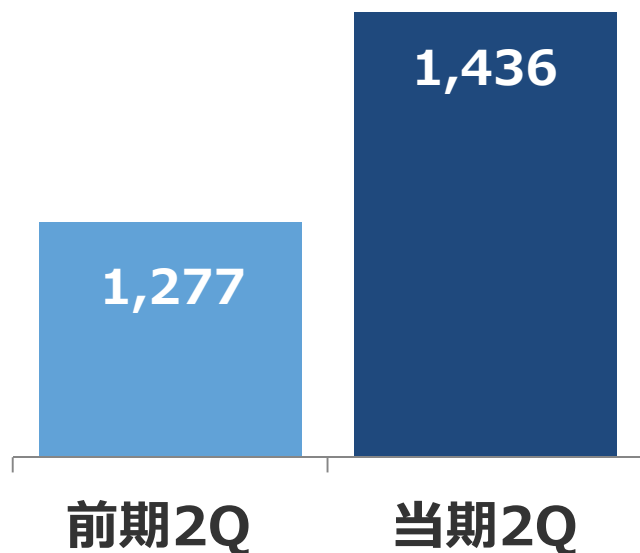
営業利益 <sup>前年同期比</sup> +12.5% (計画比 +7.2%)

(単位：百万円)

## 販売管理費の抑制 (+0.5%)

販管費の7割を占める人件費は+1.0%

〔人員数〕前期末 422名 → 当期9月末 440名



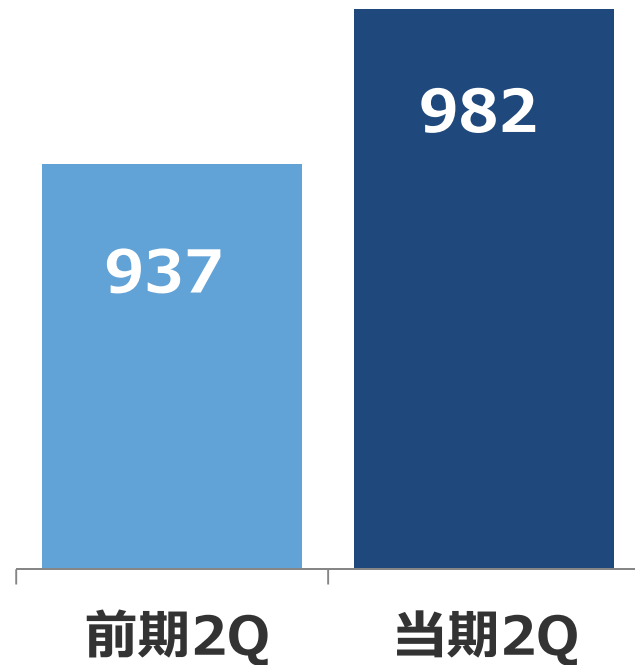
## 売上総利益率は0.2pt 悪化

- ・ PCIの減収によるミックスの悪化や一括買取の減少
- ・ 価格下落の影響は仕入コストダウンでカバー

# 決算のポイント

前年同期比  
四半期純利益 + 4.8% (計画比 + 7.9%)

(単位：百万円)



前期の特別利益計上の反動で  
微増益

(投資有価証券売却益等)

# 連結損益計算書

	前期2Q		当期2Q	
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
<b>売上高</b>	<b>25,871</b>	<b>100.0</b>	<b>27,713</b>	<b>100.0</b>
売上原価	22,420	86.7	24,091	86.9
<b>売上総利益</b>	<b>3,450</b>	<b>13.3</b>	<b>3,622</b>	<b>13.1</b>
販売管理費	2,173	8.4	2,186	7.9
<b>営業利益</b>	<b>1,277</b>	<b>4.9</b>	<b>1,436</b>	<b>5.2</b>
営業外収益	7	0.0	2	0.0
営業外費用	0	0.0	0	0.0
<b>経常利益</b>	<b>1,283</b>	<b>5.0</b>	<b>1,438</b>	<b>5.2</b>
特別利益	263	1.0	-	-
特別損失	167	0.6	0	0.0
<b>税前利益</b>	<b>1,379</b>	<b>5.3</b>	<b>1,437</b>	<b>5.2</b>
税金費用	442	1.7	455	1.6
<b>四半期純利益</b>	<b>937</b>	<b>3.6</b>	<b>982</b>	<b>3.5</b>

# 連結貸借対照表

	2016年3月末		2016年9月末		増減 (百万円)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
<b>流動資産</b>	<b>26,624</b>	<b>90.2</b>	<b>26,947</b>	<b>90.5</b>	<b>323</b>
現金・預金	9,285	31.5	10,516	35.3	1,230
売上債権	15,137	51.3	13,941	46.8	▲1,196
商品	1,475	5.0	1,543	5.2	68
その他流動資産	725	2.5	946	3.2	220
<b>固定資産</b>	<b>2,891</b>	<b>9.8</b>	<b>2,841</b>	<b>9.5</b>	<b>▲49</b>
<b>資産合計</b>	<b>29,515</b>	<b>100.0</b>	<b>29,789</b>	<b>100.0</b>	<b>273</b>
<b>流動負債</b>	<b>14,903</b>	<b>50.5</b>	<b>14,745</b>	<b>49.5</b>	<b>▲157</b>
仕入債務	13,477	45.7	13,779	46.3	302
未払法人税等	604	2.0	432	1.5	▲171
その他流動負債	821	2.8	533	1.8	▲288
<b>固定負債</b>	<b>684</b>	<b>2.3</b>	<b>721</b>	<b>2.4</b>	<b>36</b>
<b>負債合計</b>	<b>15,587</b>	<b>52.8</b>	<b>15,466</b>	<b>51.9</b>	<b>▲121</b>
<b>純資産合計</b>	<b>13,927</b>	<b>47.2</b>	<b>14,322</b>	<b>48.1</b>	<b>394</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>29,515</b>	<b>100.0</b>	<b>29,789</b>	<b>100.0</b>	<b>273</b>

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前期2Q	当期2Q
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>791</b>	<b>1,898</b>
税金等調整前当期純利益	1,379	1,437
減価償却費	133	119
投資有価証券売損益 (▲は益)	▲169	-
保険解約返戻金	▲93	-
退職給付費用	159	-
売上債権の増減額 (▲は増加)	730	1,196
たな卸資産の増減額 (▲は増加)	▲16	▲65
仕入債務の増減額 (▲は減少)	▲850	302
法人税等の支払額	▲478	▲738
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>295</b>	<b>▲79</b>
有形固定資産の取得による支出	▲166	▲68
投資有価証券の売却による収入	299	-
保険積立金の解約による収入	106	-
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>▲545</b>	<b>▲588</b>
配当金の支払額	▲545	▲588
<b>現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)</b>	<b>541</b>	<b>1,230</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>7,238</b>	<b>9,285</b>
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>7,779</b>	<b>10,516</b>

# 今後の見通し

---

# 2016年診療報酬改定の ポイントと当社への影響

## ① 特定保険医療材料の償還価格の改定

---

⇒ 当社グループへの影響は  
平均 ▲5% (対売上高)

## ② 要件厳格化による病床数コントロール

---

⇒ 急性期病床数が**10%**程度削減される見込み

# ①償還価格改定:売上高への影響

分類	影響度 (%)
虚血性心疾患関連 (PCI)	▲ 8.7
心臓律動管理関連 (CRS)	▲ 3.4
心臓血管外科関連 (CVS)	▲ 2.0
末梢血管疾患関連 (PPI)	▲ 3.7
脳外科関連	▲ 2.3
その他	▲ 0.7
全体	▲ 5.0

(2016年3月期の売上構成比・数量ベースでの試算)



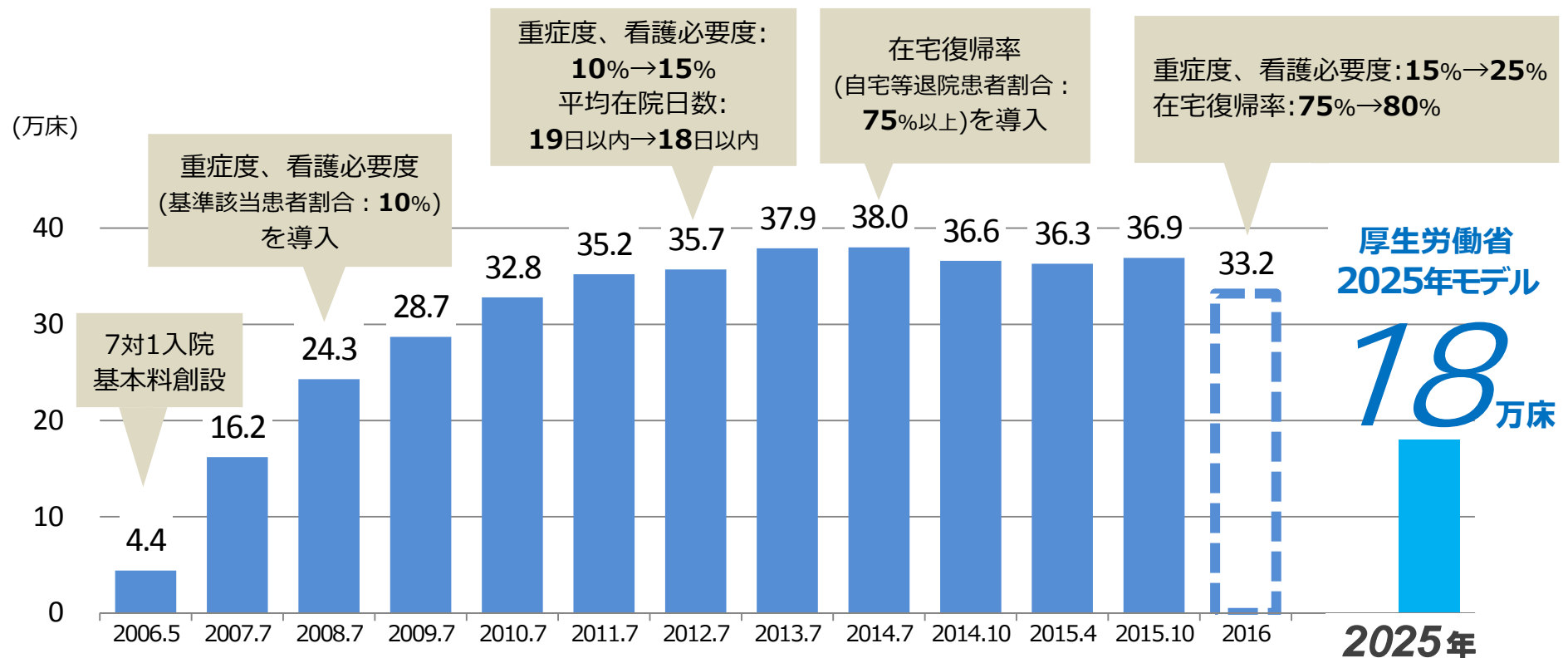
# 主要製品の償還価格

分類	製品分類	特定保険医療材料の償還価格(千円)		増減率(%)
		2014年	2016年	
PCI	PTCAバルーンカテーテル	67	59	▲12.0
	DES	261	226	▲13.4
	IVUS	109	100	▲8.3
CRS	ペースメーカー	827	739	▲10.6
	ペースメーカー(MRI対応型)	1,040	986	▲5.2
	ICD	2,940	2,890	▲1.7
	ICD(MRI対応型)	3,300	3,300	0.0
	CRTD	4,280	4,140	▲3.3
	CRTD(MRI対応型)	4,500	4,500	0.0
	皮下植込型除細動器(S-ICD)	-	2,870	-
	ABLカテーテル	149	143	▲4.0
冷凍ABLカテーテル	637	637	0.0	
CVS	ステントグラフト(腹部)	1,310	1,310	0.0
	オープン型ステントグラフト	-	1,140	-
	TAVI用生体弁(バルーン拡張型)	4,650	4,430	▲4.7
	TAVI用生体弁(自己拡張型)	-	3,670	-
PPI	PTAバルーンカテーテル	72	67	▲6.9
	末梢血管用ステント	188	188	0.0

## ②病院の要件厳格化:急性期病院

7対1入院基本料の厳格化により、  
急性期病床の約**10%**(約**3.6**万床)が脱落

### 一般病棟入院基本料の要件と急性期病床数の推移



# 2018年診療報酬改定の論点

## ①地域包括ケアシステムの構築

---

⇒ 効果的な在宅医療の整備

## ②病床機能の分化促進

---

⇒ 患者の状態により即した機能  
(看護必要度以外の評価方法の検討等)

## ③高額薬剤の薬価見直し等

---

# 今後の重点施策

## 病院機能強化支援の推進

---

- 急性期病院としての機能を強化し、  
地域のセンター病院になるための支援
- 顧客病院に患者が集まるように支援
- より効果的、効率的な治療・オペレーション  
のための支援

# 病院機能強化支援の具体策

---

## マルチ・スペシャリティ へのバリューアップ

- ①他科への進出提案: 循環器内科 ⇒ 心臓外科
- ②治療領域の拡大提案: 心臓カテーテル ⇒ 不整脈
- ③関連疾患スクリーニング推奨による潜在患者の発掘:  
心臓 ⇔ 末梢血管
- ④ハイブリッド型医療チーム編成支援
- ⑤専門的な適正使用支援の提供:  
アブレーションチームによる医療現場サポート

# 2017年3月期 通期予想

2017年3月期	金額 (百万円)	百分比 (%)	前期比 (%)
売上高	56,600	100.0	+4.5
営業利益	3,000	5.3	+1.2
経常利益	3,000	5.3	+0.7
当期純利益	2,050	3.6	▲2.9

1株当たり当期純利益(円) **71.41\***

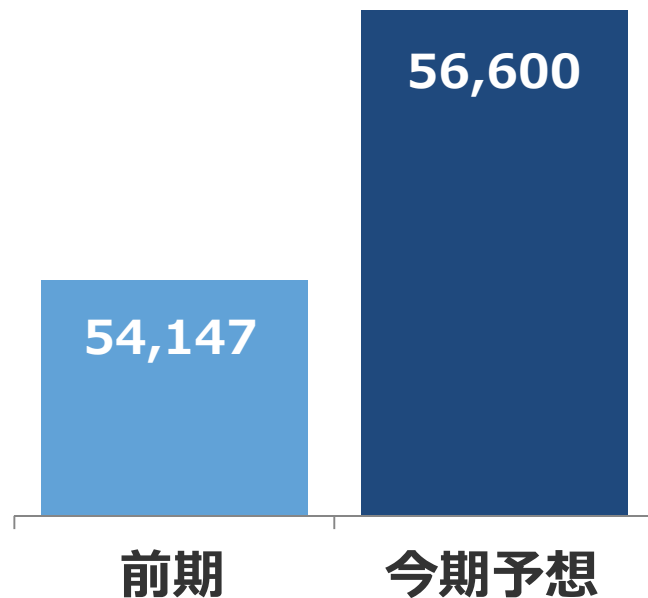
1株当たり配当金 (円) **21.50\***

※1：2の株式分割後

# 業績予想のポイント

売上高 <sup>前期比</sup> +4.5%

(単位：百万円)



## 既存顧客の深耕

- ・ 病院機能強化支援の提供

## 新規顧客の獲得

- ・ 首都圏の有力病院の開拓
- ・ 首都圏以外での営業活動強化  
新規進出した地域では、提案要請が増加  
⇒バリューアップ提案強化

上期実績を踏まえ、分類別見通しを修正

# 分類別売上高見通し

(単位：百万円)

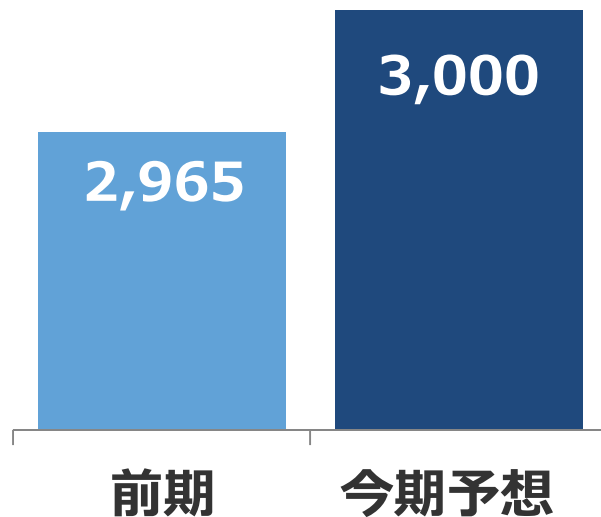
	金額	前期比	期初予想
虚血性心疾患関連 (PCI)	21,500	▲5.0%	23,330
心臓律動管理関連 (CRS)	13,660	+20.1%	11,960
心臓血管外科関連 (CVS)	6,400	▲3.9%	6,820
末梢血管疾患関連 (PPI)	3,010	+7.4%	3,010
脳外科関連	1,770	▲7.0%	1,770
糖尿病関連 (DMS)	1,030	+33.2%	1,030
大型機器関連	5,000	+50.2%	3,970
その他	4,230	▲9.5%	4,710
合計	56,600	+4.5%	56,600



# 業績予想のポイント

営業利益 前期比 **+1.2%**

(単位：百万円)



売上総利益率 **13.2%** (前期比 ▲0.2pt)

- ・下期は一括買い取りやリベート獲得で改善を目指す、上期実績を踏まえ、期初の13.5%から修正

販売管理費 前期比**+4.1%**

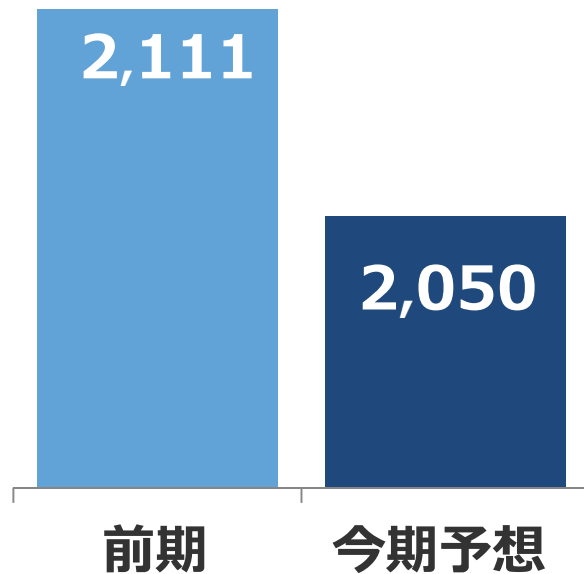
- ・ 期初予想46.6億円から44.7億円に修正  
人員計画を見直し 期初計画 **478名** ⇒ **460名**  
(前期末**422名**)

# 業績予想のポイント

当期純利益 前期比 ▲2.9%

前期の特別利益がなくなることにより減益

(単位：百万円)



設備投資 **0.6** 億円  
(前期実績 **3.1** 億円)

減価償却費 **2.3** 億円  
(前期実績 **2.7** 億円)

# 配当方針

業績、経営基盤の強化および  
将来の事業展開等を総合的に勘案しながら

配当性向 **30%** 以上 を目指します

2017年3月期 配当金予想

期末 **21.5**<sup>※</sup>円

---

※1:2の株式分割後

# 株価推移



# (参考) 今後の新製品 (PCI)

## 日本初の“溶けるステント” 生体吸収性冠動脈ステント(BVS)

---



2016年11月承認

アボット製

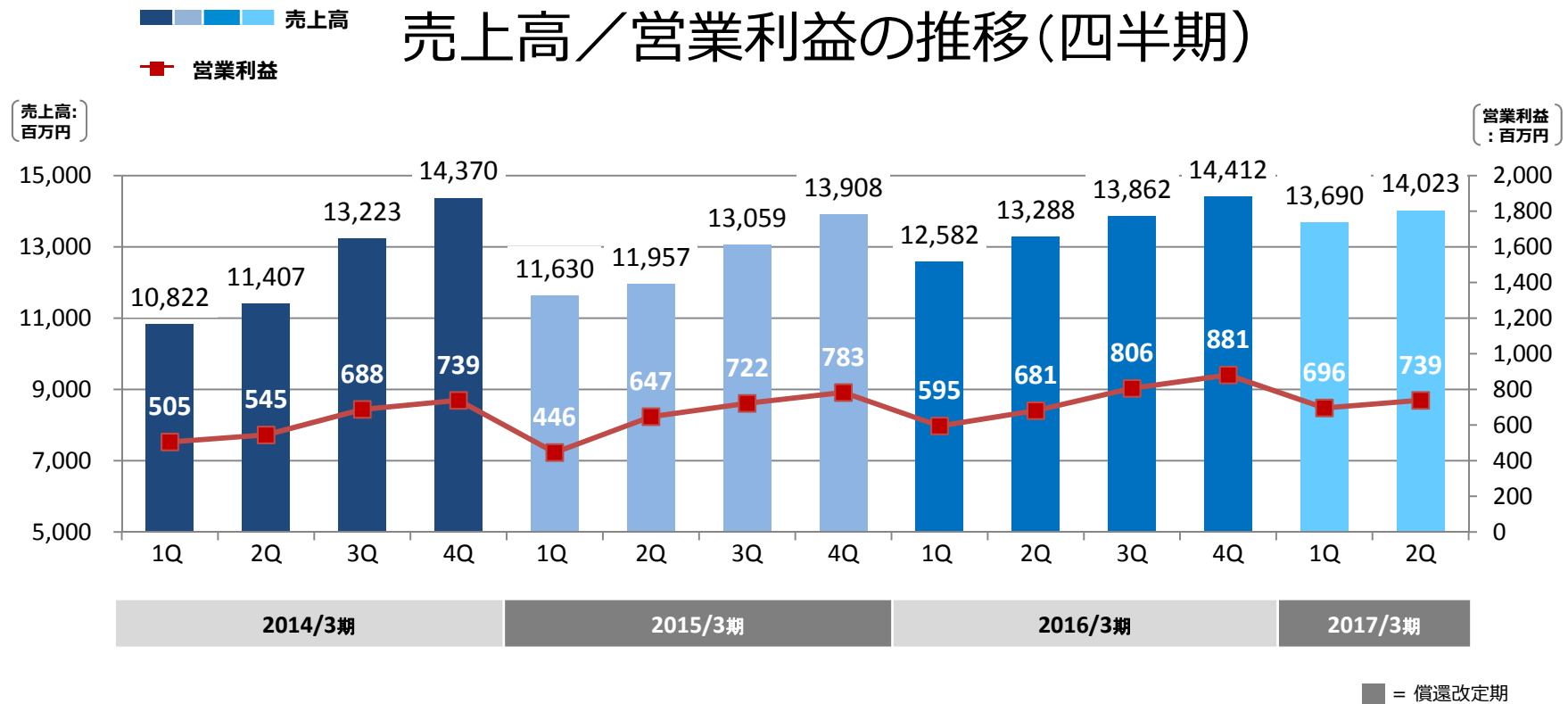
「AbsorbGT1」

BVS: Bioresorbable Vascular Scaffold

# (参考) 主要取扱製品

分類	主な疾患	主な医療機器			
<b>PCI</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭心症</li> <li>・心筋梗塞</li> </ul>	PTCAバルーンカテーテル	薬剤溶出型ステント (DES)	血管内超音波診断カテーテル (IVUS)	
					
<b>CRS</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不整脈</li> </ul>	ペースメーカー	植込型除細動器 (ICD)	両室ペーシング機能付き植込型除細動器 (CRTD)	心筋焼灼術用カテーテル
					
<b>CVS</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大動脈瘤</li> <li>・大動脈弁狭窄症</li> </ul>	ステントグラフト	経カテーテル的大動脈弁留置術 (TAVI)用生体弁	機械弁	
					
<b>PPI 脳外科</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下肢閉鎖性動脈硬化症</li> </ul>	末梢血管用ステント	頸動脈用ステント	塞栓用コイル	
					
<b>DMS 大型医療 機器</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病</li> <li>・検査</li> </ul>	インスリンポンプ	移動式X線撮影装置	磁気共鳴画像診断装置 (MRI)	
					

# (参考) 四半期業績推移





## ロゴマークについて

---

幸せの象徴、青い鳥が向かい合ってつくる「W」  
それは私たちの頭文字であり、企業や人とのパートナーシップを表しています。  
三角形はひとつひとつの企業を表し、より良い社会に向けて自在に形を変え、  
進化しながら高みを目指す私たちの企業姿勢を伝えます。

この資料は投資家の参考に資するため、ウイン・パートナーズ株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。  
当資料に記載された内容は、2016年11月21日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

**本資料に関するお問合せ先**  
**ウイン・パートナーズ株式会社 社長室**  
**TEL : 03-6895-1234 FAX : 03-5688-0891**  
**HP : <http://www.win-partners.co.jp>**